

「道路政策の質の向上に資する技術研究開発」（平成28年度採択）

中間評価結果（公表用／ソフト分野）

番号	研究名	研究代表者	評価
28-3	複数のデータを活用した道路のストック効果の計測技術の再構築	広島大学 准教授 塚井 誠人	B
<p><研究の概要></p> <p>ETC2.0 データから得られる交通状態の質的指標を用いた新たな事故リスクの分析，携帯電話ビッグデータを用いた観光地のトラベルコスト評価，ならびに工業団地等の地価分析を実施して，道路のストック効果算出のための計測技術を再構築する。</p> <p><中間評価></p> <p>データベースの入手が遅れる等、必ずしも研究計画のとおりに進んでいるとは言えないが、今後、適切に研究が実施されれば研究成果を期待することができると考えられることから、指摘事項に留意しながら現行のとおり推進することが妥当であると評価する。</p> <p><今後の研究計画・方法への指摘事項></p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本研究で計測するストック効果を明確に定義するとともに、3つのサブテーマの分析の意味を明確にして研究を進めていただきたい。 2. 3つのサブテーマの分析結果について、道路整備のストック効果の計測に活用していく方法を提案していただきたい。 3. スtock効果の評価指標を個別に提案するだけでなく、その関連性を明確にした上で、統合および総合化の手順を示していただきたい。 4. 当初計画の実施が難しい場合には、研究計画の修正（絞り込み・代替手法の採用など）を検討する必要がある。 			

※本中間評価は、新道路技術会議の各委員が評価を行い、第31回新道路技術会議において審議したものである。